

定 例 記 者 会 見 資 料

日時 平成29年 4月13日(木) 13:00～

場所 白石市役所 5階 第3委員会室

1. 歴史資料複製品の贈呈について
2. 白石市空家等対策計画の策定について
3. その他

平成29年4月定例記者会見資料

歴史資料複製品の贈呈について

担当：教育委員会生涯学習課

富士ゼロックス株式会社様より、白石市で所有している歴史資料の複製品の制作を無償で実施させていただきたいとお申し出を受け、現在、白石市図書館で保管している「白石片倉家臣據旗記（こはたき）」について制作を依頼し、この度、完成品の贈呈をお受けするものです。

◎「白石片倉家臣據旗記（こはたき）」について（概要）

今回、資料の複製品を作成しましたが、この「據旗記」はこれまで調査対象になったことがなく、多くのことが未だ解明されていません。

現在、資料について分かっていることは、以下の通りです。

- ・原本は、おそらく幕末の資料と思われ、市内には同じようなものが数点確認されています。
（片倉家家臣の中で、何人かが書いていた可能性があります。）
- ・そのうちの 하나가、今回の資料で、図書館に寄贈されました。（昭和29年の受付印が資料に押されています。）
- ・「白石市の文化財」という昭和54年に発行された冊子にこの資料が掲載されています。
この冊子によると、白石出身の小関雲洋（こせき うんよう）が文久年間（1861～1864年の2月頃まで）に描いたものとされています。

※小関雲洋…白石出身の絵師。川村春洋（かわむら しゅんよう）から絵を学び、白石城之図などを描く。

なお、川村春洋は、白石出身の絵師で仙台四大画家の東東洋（あずま とうよう）から絵を学んだ。

- ・この資料は片倉家と家臣たちの旗や知行高が主に掲載されています。また、このような冊子の他に屏風で片倉家家臣の旗が描かれているものもあります。今回の資料と屏風の旗が完全に一致するわけではありませんが、照合することができます。

よりき
片倉家中據旗記帳

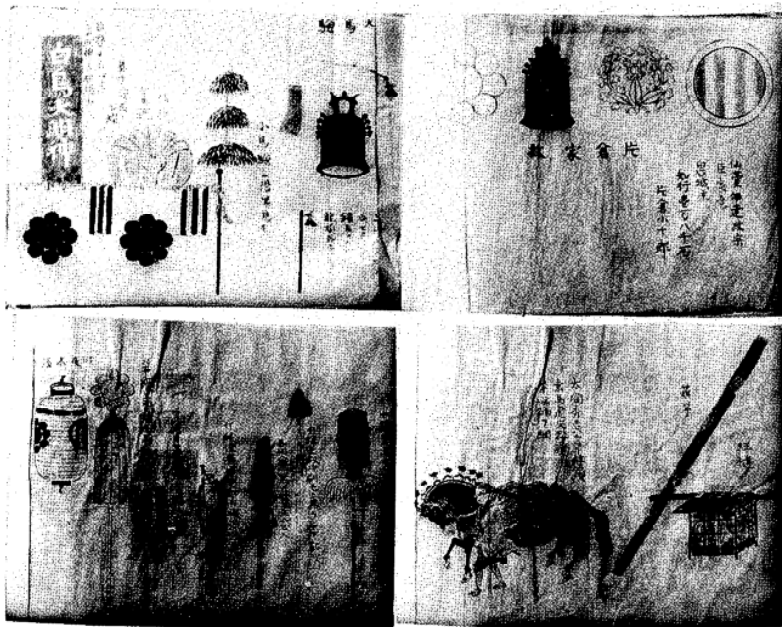
白石市図書館蔵

和装本

15cm×21.5cm

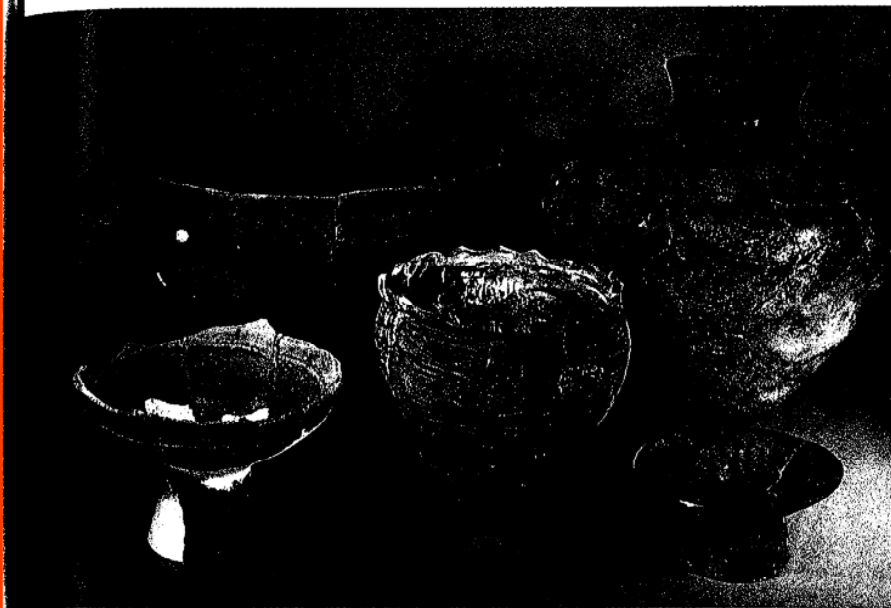
文久年間に、川村春洋（白石住画家）の弟子小関雲洋によって画かれた、和綴、彩色された據旗帳である。

片倉家とその家臣たちの知行高、旗験、馬験などが克明に画かれている。



片倉家中據旗記帳

考古資料



薬師堂遺跡出土遺物

白石市文化財調査報告書第20集

白石市の文化財

昭和54年3月20日印刷

昭和54年3月31日発行

発行 白石市文化財愛護友の会

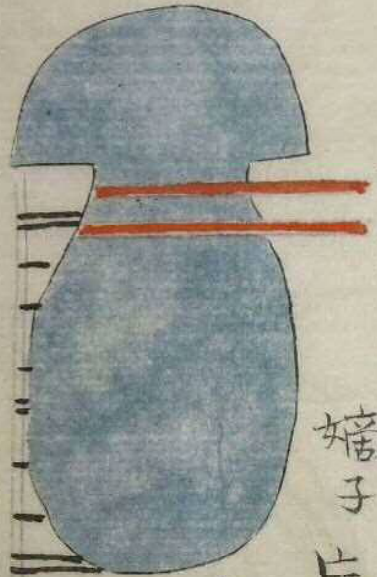
宮城県白石市桜小路35TEL.5-2111

印刷 株式会社 東北フrint

仙台市立町21-24電話631166

白石倉家臣據旗記





黒摘毛下金



指物黒毛赤纒冊

嫡子

片平長四郎

二巾羊五尺五寸

水色地

琵琶袋以筋赤



二巾羊
五尺
白地
黒字

知行三貫三百九拾二文

片平与左工門



三巾
四尺四寸
白地
赤紋

知行三貫六百七拾三文

目黒大五郎



赤紋

同壹貫而文

村上東八郎



二巾羊
四尺八寸
浅キ地
白骨頭

同

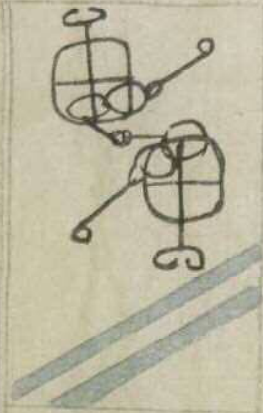
虎風

大原儀龙工門

二巾羊
五尺
白地
黒文字

同壹貫而五拾二文

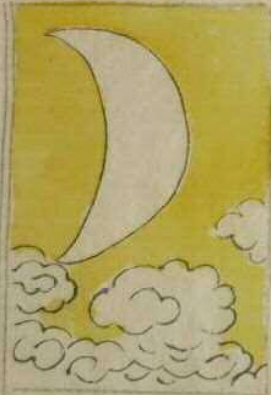
村上与五龙工門



二巾羊
五尺
白地
浅キ色以節二

同壹貫三拾七文

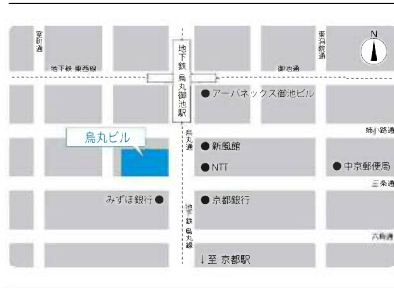
増子九兵工



二巾羊
五尺
黄地
白羊月雲

富士ゼロックスの「文化伝承活動」

京都拠点 烏丸ビル



〒604-8166
京都市中京区三条通烏丸西入御倉町85-1
烏丸ビル7F

横浜拠点 富士ゼロックス R&Dスクエア



〒220-8668
神奈川県横浜市西区みなとみらい6-1

 THIS IS MECENAT
2016



■ 関連項目 ■

地域社会・将来世代とのかかわり

<http://www.fujixerox.co.jp/company/csr/stakeholder/community/index.html>



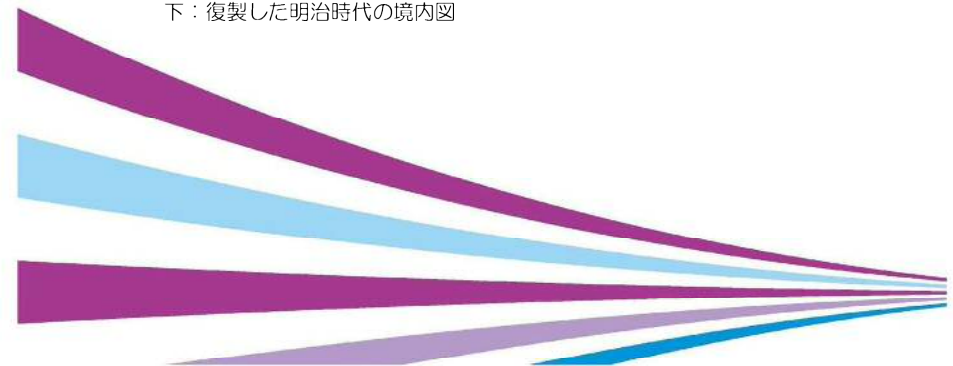
伝統文書複製の取り組み（ビデオ）

http://news.fujixerox.co.jp/video_library/detail/_vid_000082/



上：今宮神社（京都府）

下：複製した明治時代の境内図



富士ゼロックス株式会社

CSR部

〒220-8668 神奈川県横浜市西区みなとみらい6-1 Tel 045-755-5111

<http://www.fujixerox.co.jp/>



Xerox, Xeroxロゴ, およびFuj, Xeroxロゴは、米国IPロックス社の登録商標または商標です。
本誌の内容は2015年10月現在のものであります。

文化の伝承：伝統文書の複製と活用

富士ゼロックスは、企業理念にかかげる「世界の相互信頼と文化の発展への貢献」を目指し、コミュニケーションを本業とする当社らしい社会貢献の重点テーマの一つである「希少な文化や情報の伝承」を実践するために、「伝統文書の複製と活用」の活動を展開しています。

富士ゼロックスの「文化伝承活動」は、2008年に京都で社会貢献活動として開始しました。活動開始当時から、地域に密着した社会貢献として活動しており、現在複製品の贈呈先は、神社仏閣、老舗の和菓子屋、旧家、大学、企業など多岐にわたっています。

閲覧の機会が限られていたり、経年劣化が心配される伝統文書の原本を本物そっくりに複製・復元し、さらには複製品を公開したり、実際に見て触れる機会を作るなど活用していただくことで、将来世代へ文化を伝承し、文化の発展に貢献しています。

2014年4月には、技術部門との連携を強化するために研究・開発の主要拠点であるR&Dスクエアに活動拠点を開設し、現在京都と横浜の2拠点で活動しています。

富士ゼロックスの「文化伝承活動」の特徴

1. 最新の自社技術を駆使

複製には自社の複合機を使用し、カラーマネジメント（色再現）技術、特色トナー、特殊用紙への対応などの最新技術を活用しています。右の複製品作成時には未公表の金トナーを試験的に使用しました。



2. 原本の質感を忠実に再現

原本を観察し、徹底的に調査することによって得られた歴史的背景や素材（和紙や糸）、顔料などの情報をもとに、和紙の種類や手触り感などを原本に忠実に再現しています。



原本 複製品

3. 多くの人々が活用

贈呈した複製品は、経年劣化が心配される原本の代わりに研究用、公開展示用、教材などとして、多くの人々にさまざまな形で活用していただいています。



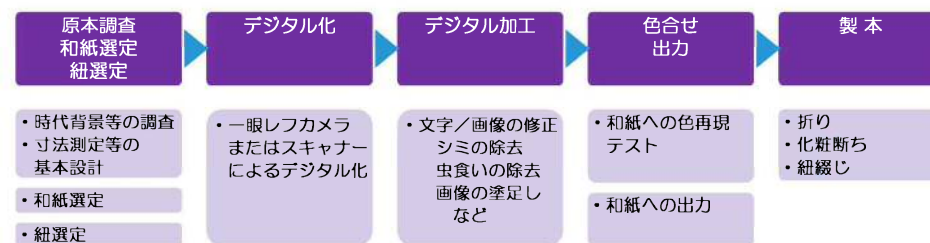
4. 複製を超えた新たな価値提供

毎年、大学生向けのインターンシップ（就業体験）を開催し、文化の研究、複製の作成、提案書の作成などを通じて文化に触れてもらう機会を提供しています。また、複製した古文書とデジタル技術の融合による新たな価値の提供の検討も進めています。



複製プロセス

複製の大まかな流れは、原本の受取り、電子データの加工、色合せ／出力、製本です。



これまでに贈呈した複製品

複製品の種類には、短冊、一枚もの、かるた、大判地図、綴じ本、巻物、折本 等があります。



『醍醐花見短冊（たんざく）』（慶長3年）の複製品
世界文化遺産「總本山醍醐寺」所蔵
豊臣秀吉が醍醐寺で開いた歴史的に有名な花見の席で歌われた歌131首からなる国の重要文化財
複製品には金銀トナーを活用



『府社 今宮神社之圖』（明治14年）の複製品
京都の今宮神社境内の様子を詳細に記した俯瞰図
八百屋の娘から将軍の生母という地位まで上り詰めた桂昌院（お玉）によって復興したため「玉の輿神社」とも言われている



『伊勢物語御歌かるた』（江戸時代後期）の複製品
伊勢物語の歌209首をかるたにしたもの
伊勢物語とは平安時代初期に成立した作者不詳の歌物語
同志社大学所蔵



『菊多郡田部村地図』（明治7年）の複製品
福島県いわき市の旧菊多郡田部村の地図
当時の山・川・住居・墓・道などが丁寧に描き込まれた貴重な歴史資料
立教大学の依頼により複製



『戸田浦における露国軍艦建造図巻』（安政2年頃）の複製品
1854年、日露和親条約締結を目的として来日したロシア使節・フチャーチン一行の様子を描いた絵巻物。
* 2016年12月の日露首脳会談（山口県）にて安倍首相からプーチン大統領にこの複製品が贈呈されました。

「白石市空家等対策計画の策定について」

担当：建設産業部建設課

本市では、平成26年11月に成立しました「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成29年1月に白石市空家等対策協議会を立ち上げ、専門的な知見を有する方々から、積極的なご意見ご提案をいただき、この度、本計画を策定しました。

記

○空き家調査方法 市内全域の建物実態調査を行い、外観目視により調査

○空き家候補件数 831棟

内訳	専用住宅	682棟
	併用住宅	69棟
	長屋住宅等	27棟
	その他	53棟（店舗・工場・倉庫等）

・うち第3者に危害を与えている可能性のある建物 377棟

内訳	専用住宅	317棟
	併用住宅	36棟
	長屋住宅等	7棟
	その他	17棟

○平成29年度の予定

- ・所有者等調査
- ・所有者等への意向調査（アンケート）
- ・啓発リーフレットの作成